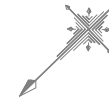


S=1 : 500

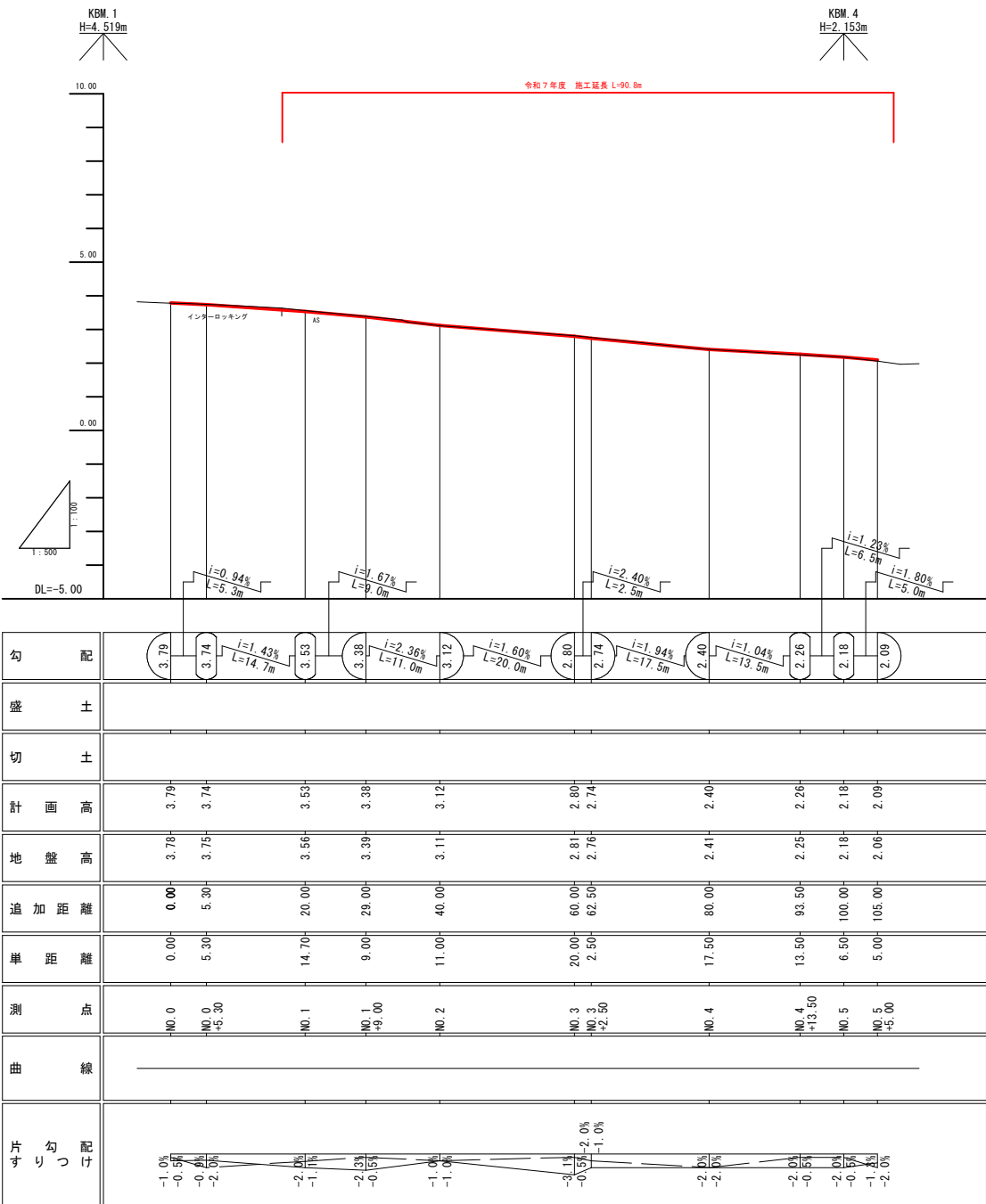


4級基準点	X 座標	Y 座標	Z 座標
BT.1	-62581.715	-90803.064	3.36
BT.2	-62608.512	-90820.667	2.71
BT.3	-62627.976	-90848.154	2.24

世界測地系	
図面番号	第 8 枚内 1 号
図面名称	市道角館町1丁目1号線道路整備工事 (ウォークル推進事業) 平面図
縮尺	1:500 (A3=1:1000)
製図年 月 日	令和 年 月 日
写図年 月 日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

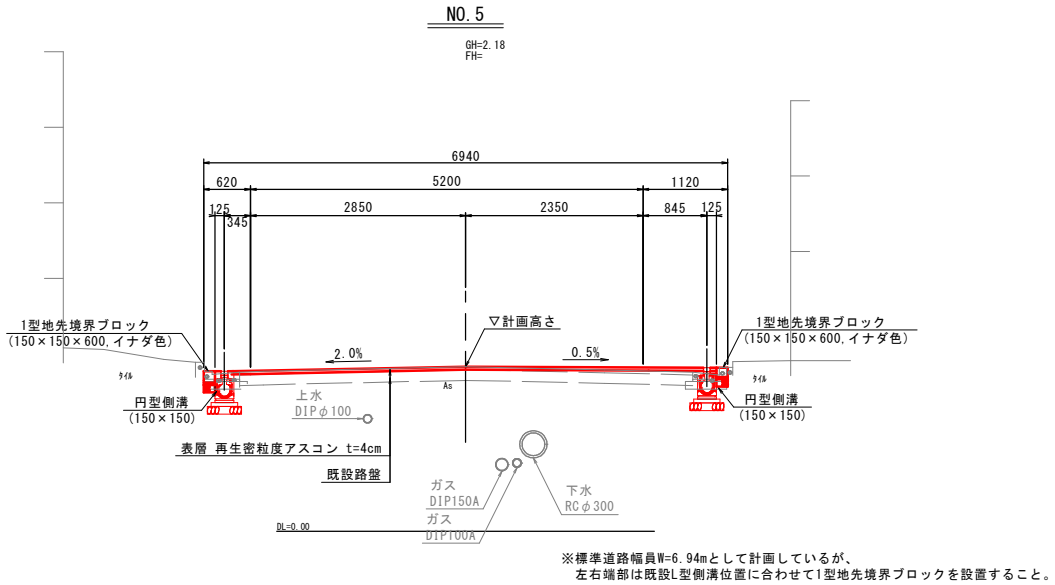
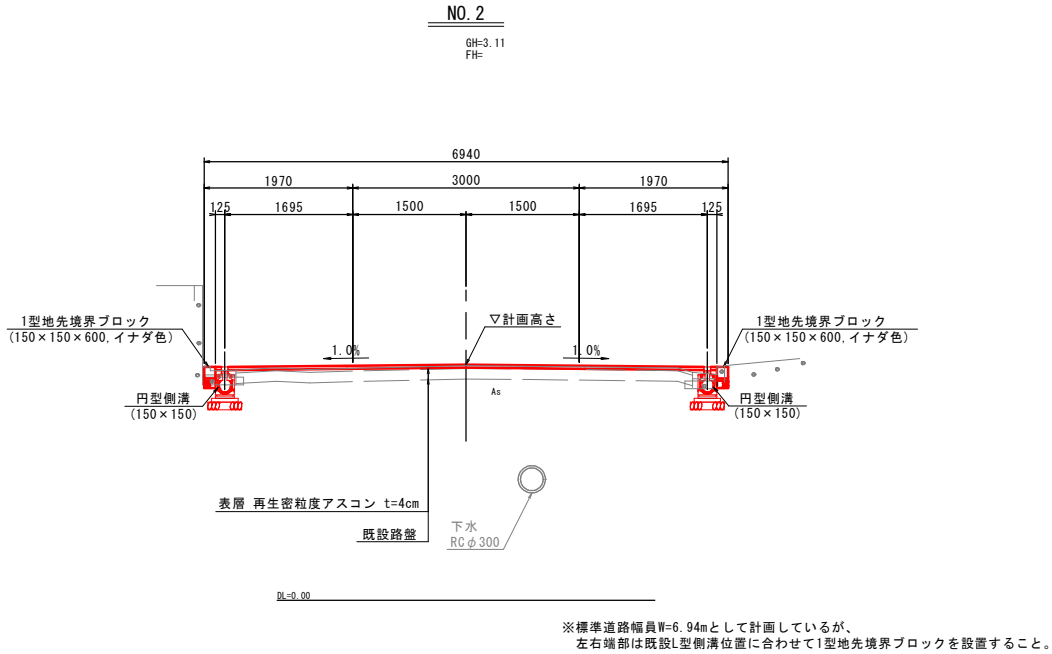
縦断面図

V=1:100
H=1:500



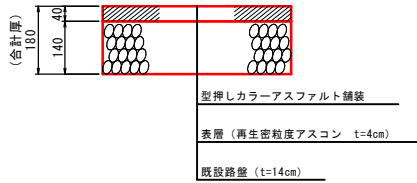
図面番号	第 8 枚内 2 号
図面名称	市道角館町1丁目1号線道路整備工事 (ウォークラブル推進事業) 縦断面図
縮尺	V=100:H=500 (A3 V=200:H=1000)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

標準断面図 S=1:50

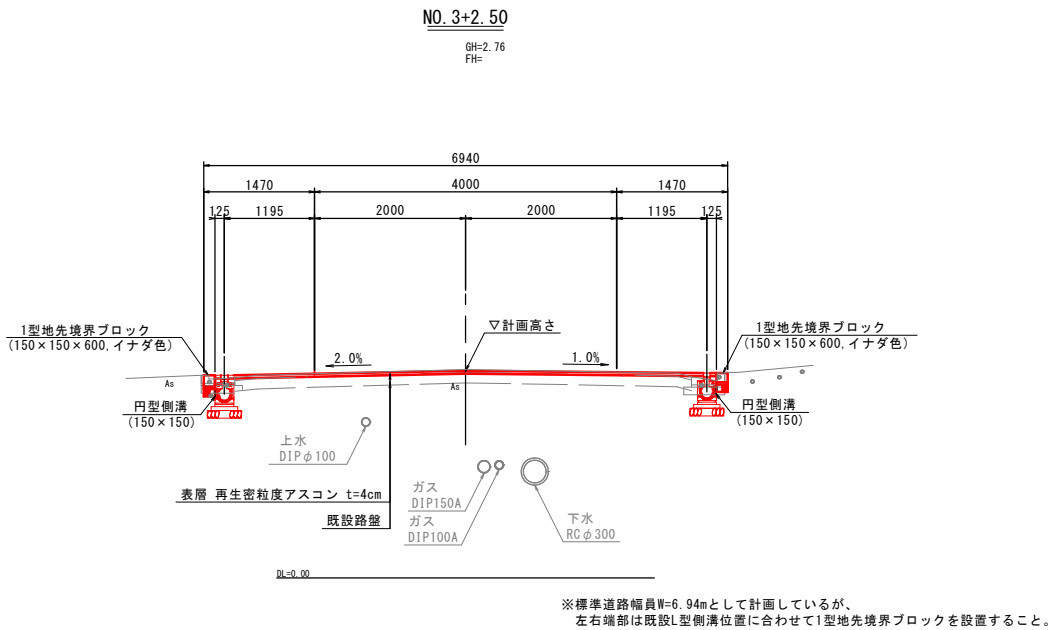
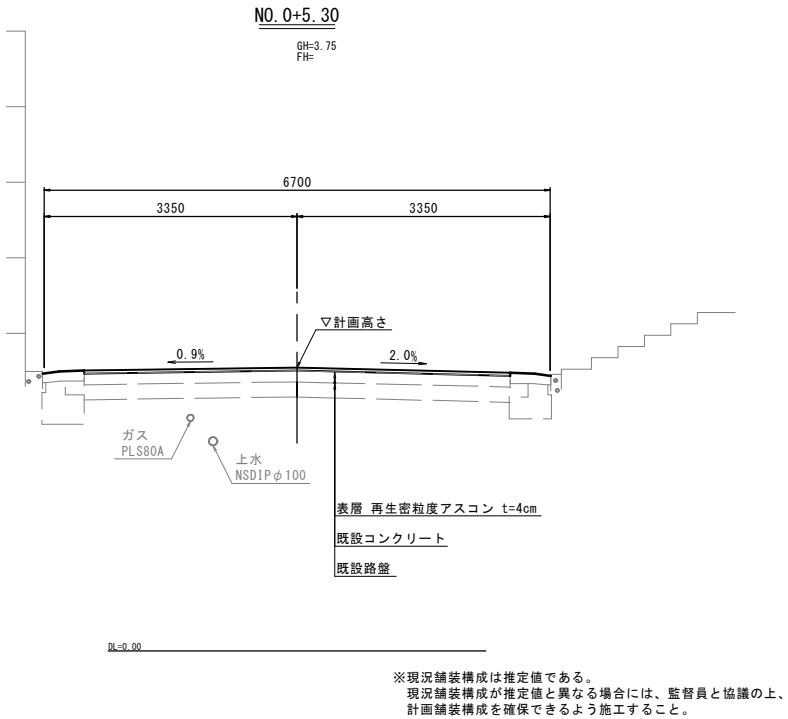
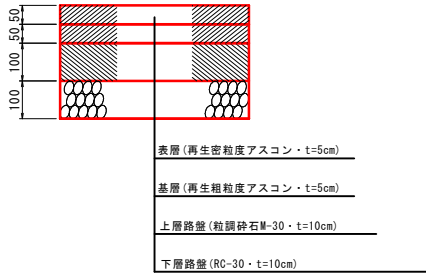


舗装構成 S=1:10
(A3 1:20)

市道角盤町1丁目1号線

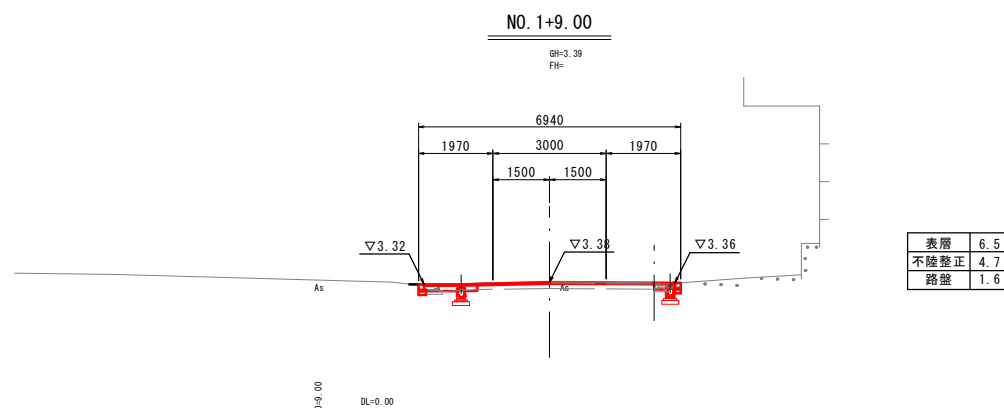
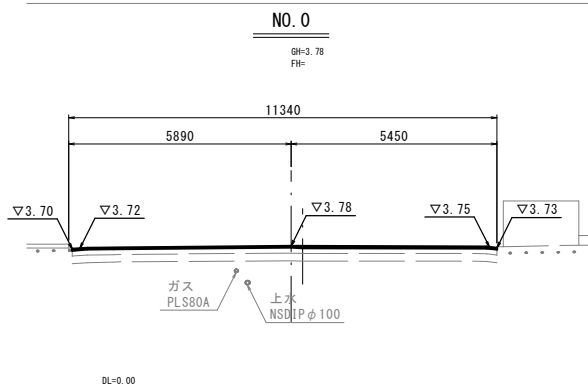
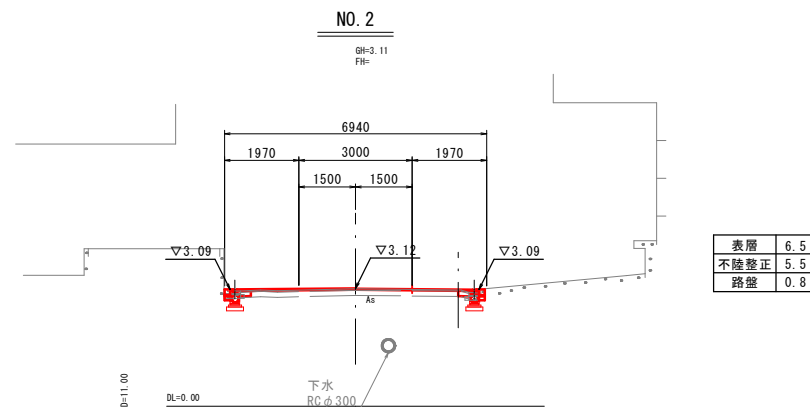
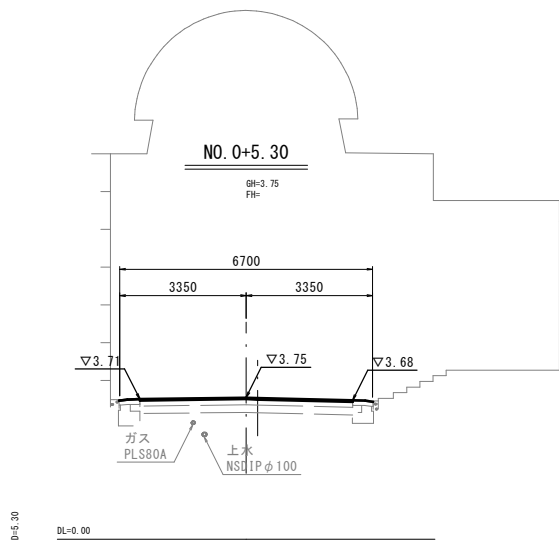
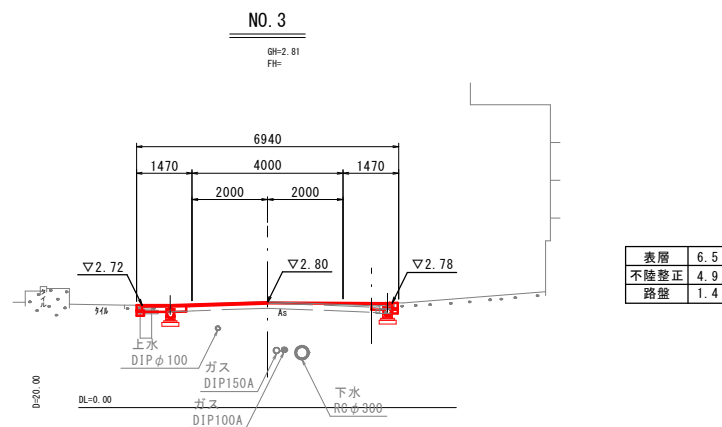
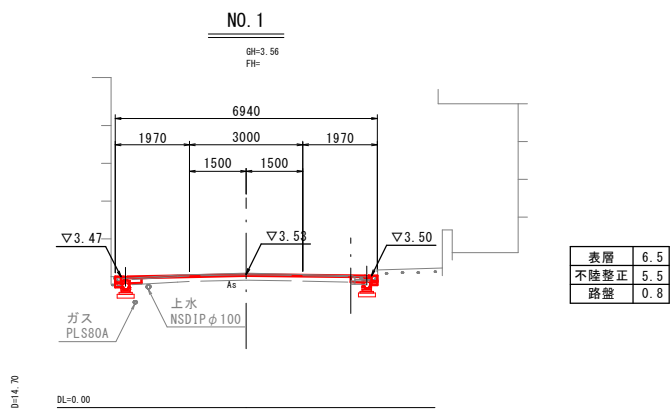


市道電通通り土橋線



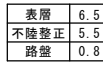
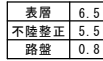
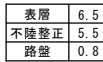
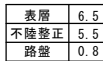
図面番号	第 8 枚内 3 号
図面名称	市道角盤1丁目1号線道路整備工事 (ウォークابل推進事業) 標準断面図
縮尺	1:50 (A3=1:100)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

横断図(1) S=1:100



図面番号	第 8 枚内 4 号
図面名称	市道角盤町1丁目1号線道路整備工事 (ウォークラブル推進事業) 横断図(1)
縮尺	1:100 (A3=1:200)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

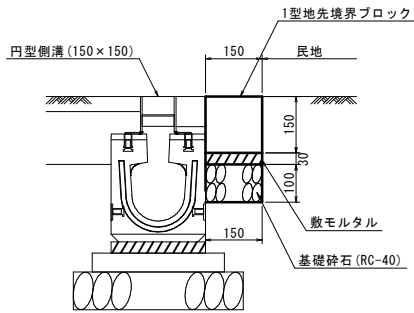
$S=1:100$



図面番号	第 8 枚内 5 号
図面名称	市道角館町 1 丁目 1 号線道路整備工事 (ウォーカーブル推進事業) 横断面 (2)
縮尺	1:100 (A3=1:200)
製図年月日	令和 年 月 日
掌図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

構造図(1)

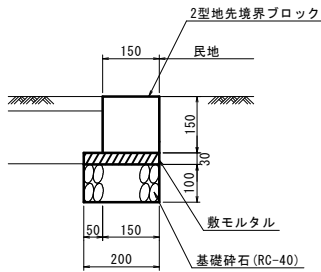
1型地先境界ブロック BB3 S=1:10 (A3 1:20)



1型地先境界ブロック BB3 10m当り数量表				
名 称	規 格	単位	数	量
地先境界ブロック	擬石イナダ色 150×150×600	個	16.5	
敷モルタル	1 : 3	m ³	0.04	
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m ²	1.50	

※1型地先境界ブロック天端は既設L型側溝天端に合わせることを基本とする。

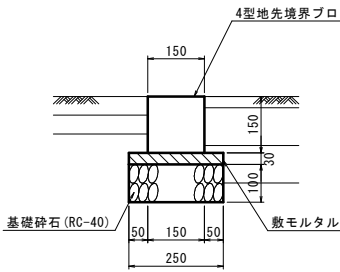
2型地先境界ブロック BB3 S=1:10 (A3 1:20)



2型地先境界ブロック BB3 10m当り数量表				
名 称	規 格	単位	数	量
地先境界ブロック	擬石イナダ色 150×150×600	個	16.5	
敷モルタル	1 : 3	m ³	0.05	
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m ²	2.00	

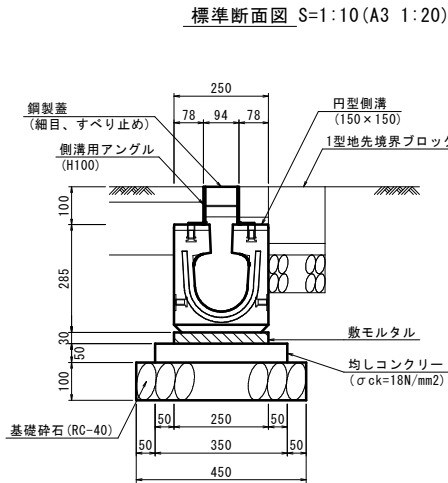
※2型地先境界ブロック天端は既設L型側溝天端に合わせることを基本とする。

4型地先境界ブロック BB3 S=1:10 (A3 1:20)



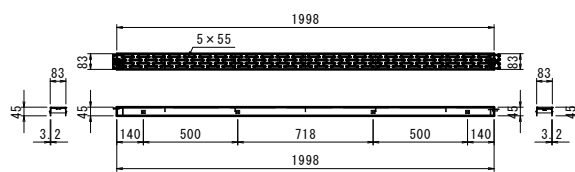
4型地先境界ブロック BB3 10m当り数量表				
名 称	規 格	単位	数	量
地先境界ブロック	普通色 150×150×600	個	16.5	
敷モルタル	1 : 3	m ³	0.08	
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m ²	2.50	

円型側溝 (150×150) S=1:10 (A3 1:20)

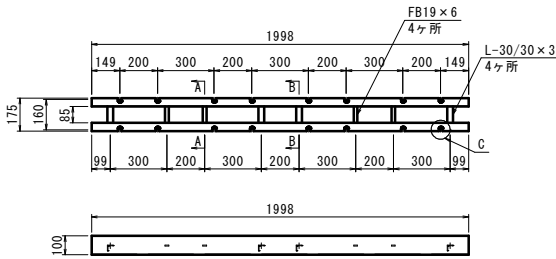


円型側溝 (150×150) 10m当り数量表			
名 称	規 格	単位	数 量
円型側溝	道路縦断用 150×150、L=2000	個	5.0
敷モルタル	1 : 3	m ³	0.08
均しコンクリート	σ ck=18N/mm ² t=5cm	m ³	0.18
型枠		m ²	1.00
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m ²	4.50
側溝用アングル	H100	個	5.0
鋼製蓋	細目 すべり止め	枚	5.0

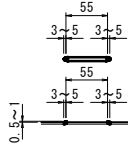
鋼製蓋詳細図 S=1:20 (A3 1:40)



アングル詳細図 S=1:20 (A3 1:40)

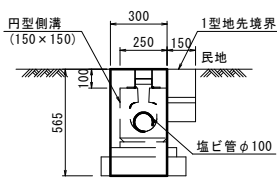


すべり止め部拡大図 (A3 1:10) S=1:5

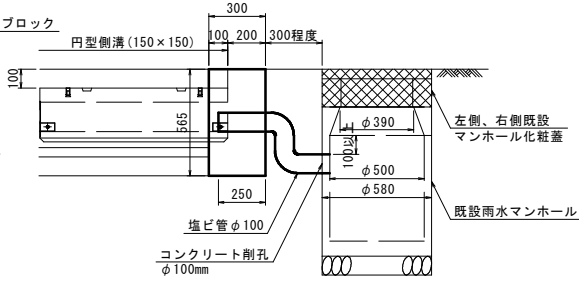


端 止 工 S=1:20 (A3 1:40)

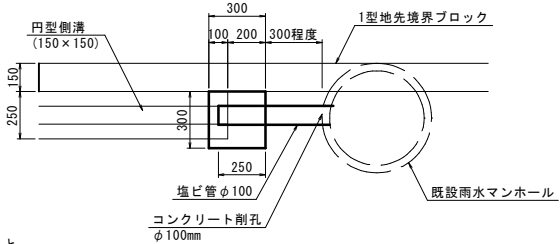
標準断面図



側面図



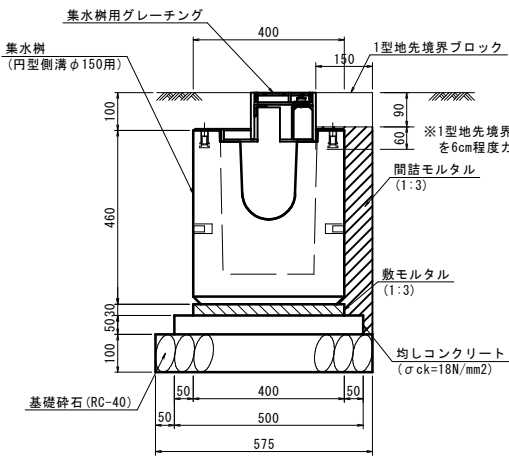
平面図



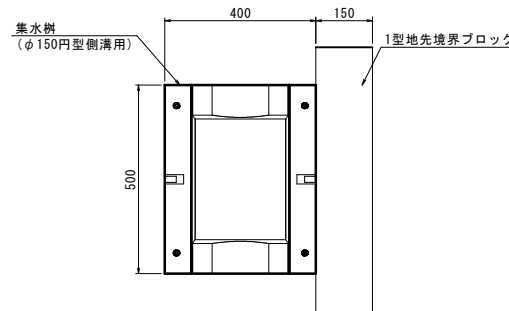
端止工 1箇所当り数量表				
名 称	規 格	単位	数	量
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.04	
型枠		m ²	0.51	
塩ビ管	VU100	m	1.00	
塩ビ管継手	90° エルボ (VU100用)	個	2.0	
コンクリート削孔	φ100mm	箇所	1.0	

※既設雨水マンホール形状は推定形状である。
塩ビ管の長さ・方向は、施工時に現地に合わせて調整すること。
※既設雨水マンホールへの削孔位置は、既設排水管に
影響しないよう施工時に現地に合わせて調整すること。
※既設雨水マンホールへの削孔位置は、既設雨水マンホール
斜壁から10cm以上の離隔を確保するよう現地に合わせて調整すること。
※端止工が1型地先境界ブロックから離れた配置の場合は、
円型側溝中心と端止工壁中心を合わせるよう端止め工を施工する。

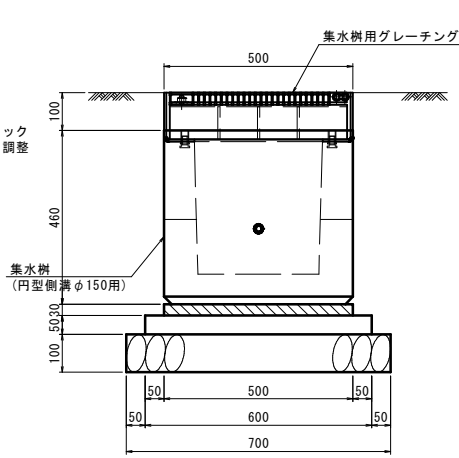
標準断面図



平面図



側面図

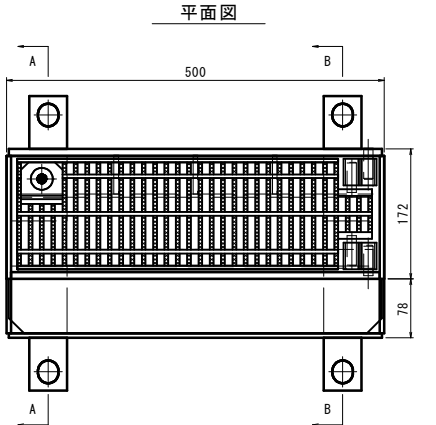


集水樹 (円型側溝φ150用) 1箇所当り数量表			
名 称	規 格	単位	数 量
集水樹	円型側溝 φ150用	個	1.0
敷モルタル	1 : 3	m ³	0.01
均しコンクリート	σ ck=18N/mm ² t=5cm	m ³	0.02
型枠		m ²	0.11
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m ²	0.40
グレーチング	T-25、細目 すべり止め	枚	1.0
間詰モルタル	1 : 3	m ³	0.02

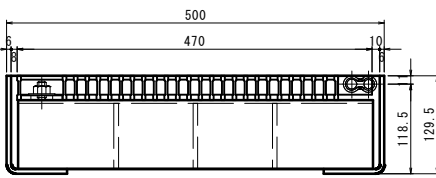
※集水樹区間に設置する1型地先境界ブロックは、
施工時に厚さ6cm程度製品をカットして施工する。

集水樹 S=1:10 (A3 1:20)

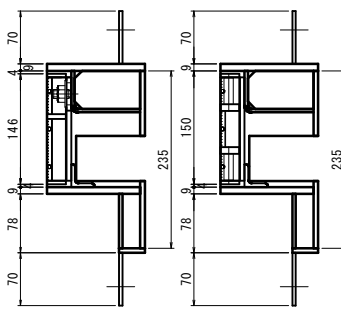
グレーチング詳細図 S=1:5 (A3 1:10)



側面図



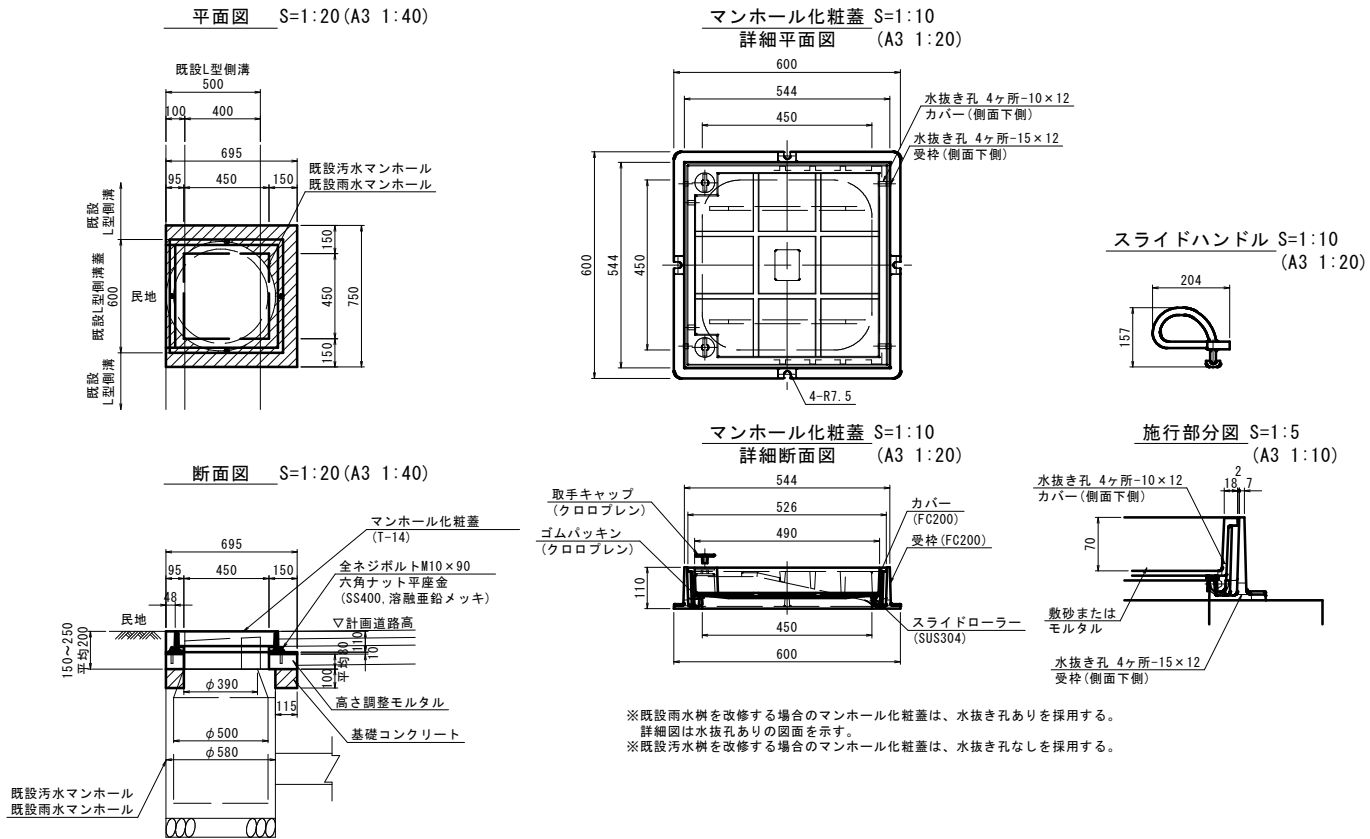
A-A断面 B-B断面



図面番号	第 8 枚内 6 号
図面名称	市道角燈町1丁目1号線道路整備工事 (ウォークパブル推進事業) 構造図(1)
縮尺	図 示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

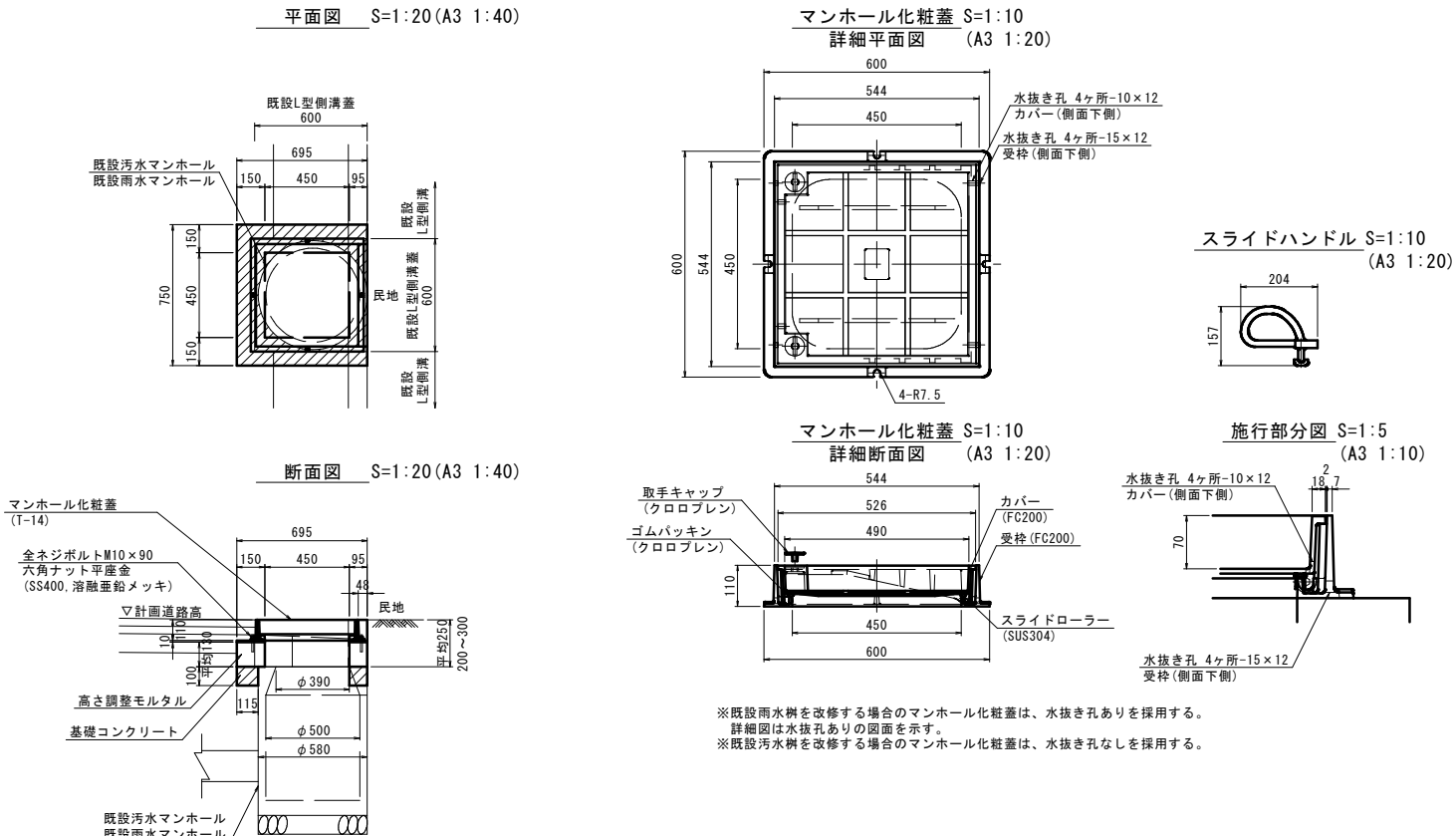
構造図(2)

左側既設マンホール化粧蓋



左側既設マンホール化粧蓋		1箇所当り数量表	
名 称	規 格	単 位	数 量
マンホール化粧蓋	T-14	個	1.0
全ネジボルト	M10×90	本	4.0
六角ナット平座金	SS400 溶融亜鉛メッキ	個	4.0
高さ調整モルタル	無収縮モルタル	m ³	0.03
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m ³	0.03
型枠		m ²	0.66

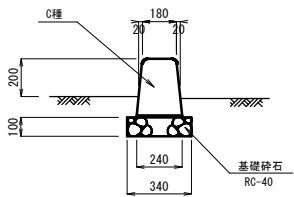
右側既設マンホール化粧蓋



右側既設マンホール化粧蓋		1箇所当り数量表	
名 称	規 格	単 位	数 量
マンホール化粧蓋	T-14	個	1.0
全ネジボルト	M10×90	本	4.0
六角ナット平座金	SS400 溶融亜鉛メッキ	個	4.0
高さ調整モルタル	無収縮モルタル	m ³	0.04
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m ³	0.03
型枠		m ²	0.90

歩車道境界ブロック(フラットタイプ)

(BSC1)



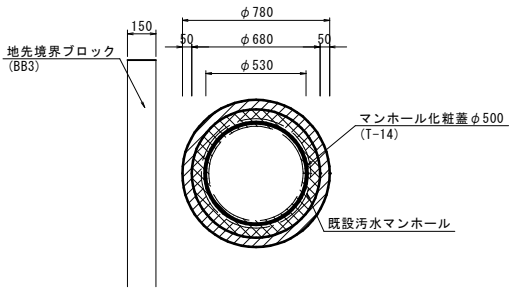
数量表		10m当り	
名 称	規格・寸法	単 位	数 量
境界ブロック	C種, L600	個	16.5
敷モルタル	1:3	m	0.024
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m	7.000

図面番号	第 8 枚内 7 号
図面名称	市道角袋町1丁目1号線道路整備工事 (ウォークابل推進事業) 構造図(2)
縮尺	図 示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

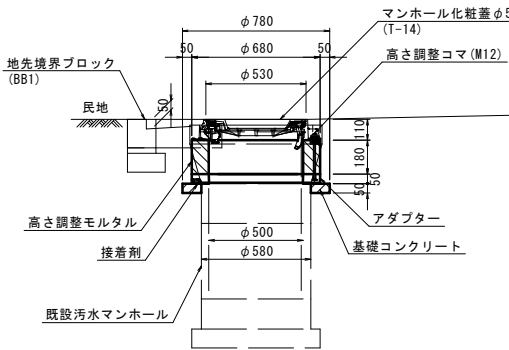
構造図(3)

1型既設マンホール化粧蓋

平面図 S=1:20 (A3 1:40)

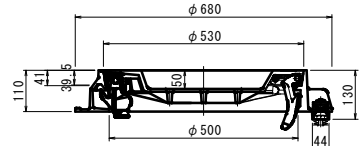


断面図 S=1:20 (A3 1:40)



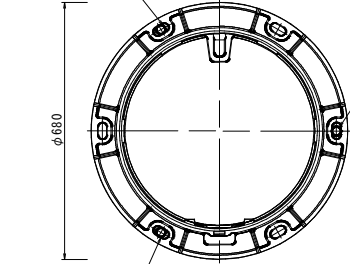
マンホール化粧蓋詳細図 S=1:10 (A3 1:20)

カバー、フレーム断面図



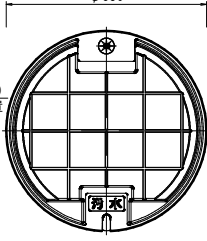
フレーム平面図

高さ調整コマ (M12)
120度ピッチで配置

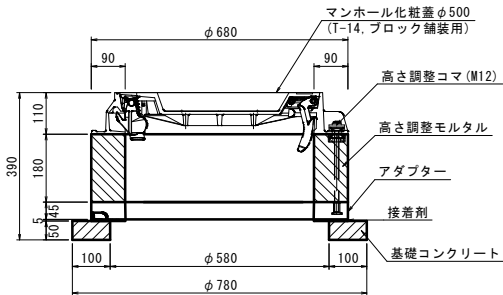


カバー平面図

高さ調整コマ (M12)
120度ピッチで配置

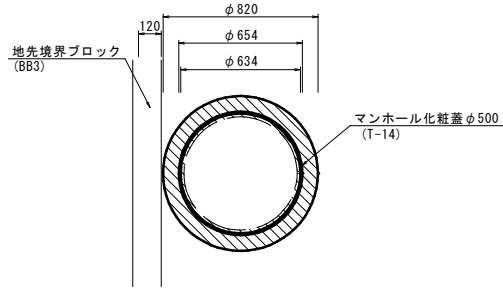


マンホール化粧蓋セット図 S=1:10 (A3 1:20)

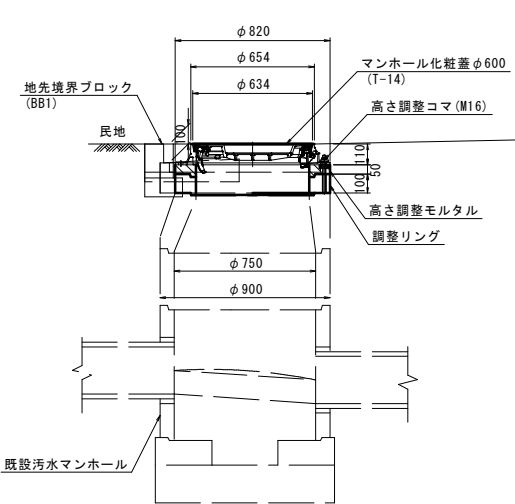


2型既設マンホール化粧蓋

平面図 S=1:20 (A3 1:40)

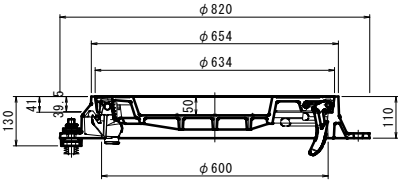


断面図 S=1:20 (A3 1:40)



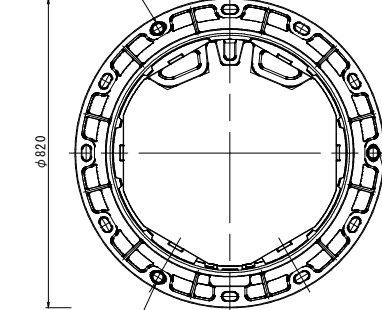
マンホール化粧蓋詳細図 S=1:10 (A3 1:20)

カバー、フレーム断面図



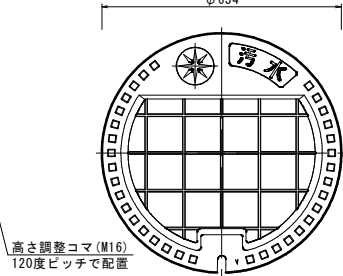
フレーム平面図

高さ調整コマ (M16)
120度ピッチで配置



カバー平面図

高さ調整コマ (M16)
120度ピッチで配置



2型既設マンホール化粧蓋

名 称	規 格	単 位	数 量
マンホール化粧蓋	T-14, φ600	個	1.0
高さ調整コマ	M16用	組	3.0
高さ調整モルタル	無収縮モルタル	m ³	0.01
型枠		m ²	0.22
調整リング	H-100	個	1.0

※高さ調整モルタルの高さh=50mmは、概ねの平均値である。
高さ調整モルタルの高さは、施工時に現地に合わせて調整すること。
※既設マンホール形状は推定である。
既設マンホールが推定形状と異なる場合は、基礎コンクリートを設置する等、施工時に現地に合わせて対応すること。
※化粧蓋内の厚さはt=5cmとなる。
表層t=5cmを化粧蓋内に打設する。

1型既設マンホール化粧蓋		1箇所当り数量表	
名 称	規 格	単 位	数 量
マンホール化粧蓋	T-14, φ500	個	1.0
高さ調整コマ	M12用	組	3.0
高さ調整モルタル	無収縮モルタル	m ³	0.03
アダプター	t=45	個	1.0
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm2	m ³	0.01
型枠		m ²	0.79

※高さ調整モルタルの高さh=180mmは、概ねの平均値である。
高さ調整モルタルの高さは、施工時に現地に合わせて調整すること。
※既設マンホール形状は推定である。
基礎コンクリート形状は、施工時に現地に合わせて調整すること。
※化粧蓋内の厚さはt=5cmとなる。
表層t=5cmを化粧蓋内に打設する。

図面番号	第 8 枚内 8 号
図面名称	市道角盛町1丁目1号線道路整備工事 (ウォーカブル推進事業) 構造図(3)
縮尺	図 示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

(参考図)

H=1 : 200

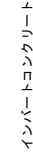
H=1:200



測 点	单 距 離	追 加 距 離	地 盤 高	計 画 高	勾 配
NO. 0'	0.000	0.000	3.57	3.57	
			3.47	3.47	
			3.33	3.33	
			3.32	3.32	
			3.25	3.25	
NO. 1'	20.000	20.000	3.17	3.17	
			3.09	3.09	
			2.72	2.72	
			2.68	2.68	
			2.47	2.47	
NO. 3'	20.000	60.000	2.46	2.46	
			2.36	2.36	
			2.34	2.34	
			2.21	2.21	
			2.20	2.20	
NO. 4'	20.000	80.000	2.12	2.12	
			2.12	2.12	
			2.10	2.10	
			2.05	2.05	
			2.05	2.05	

※縦断面現況地形は、既設L型側溝天端高を示す。計画道路側溝中心の現況地形高ではないことにご留意する。
 ※縦断面現況地形高は、道路測点での既設L型側溝天端高を既知点とし、測点間は距離案分にて推定している。
 ※計画高は、計画道路側溝天端高を示す。
 ※計画道路側溝区間4は、道路縦断勾配と側溝流下方向が逆になるため、側溝底にインバートコンクリートを打設し流下方向を確保する。
 ※計画高の()内数値は、インバートコンクリート底高を示す。

S=1:10 (A3 1:20)



※計画高は、計画道路側清天端高を示す。

※計画道路側清計画高は①型2地先境界ブロック天端に合わせる計画とする。

※①型2地先境界ブロック天端は既設①型清天端に合わせる計画を基本とする。

※道路NO.1・9・0は道路横断勾配および既設マンホール天端を考慮し、

※計画道路側清計画高(2型地先境界ブロック天端高)を▽3.32としており、既設①型側清計画高より3cm程度高く設定していることに留意す。

S=1:200 (A3 1:400)

図面番号	第 3 枚内 1 号
図面名称	市道角笠町1丁目1号線道路整備工事 (ウォークブル推進事業) 参考図 左側道路側溝横断図
縮尺	1:100 (A3=1:200)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日

米子市市整備部都市整備課

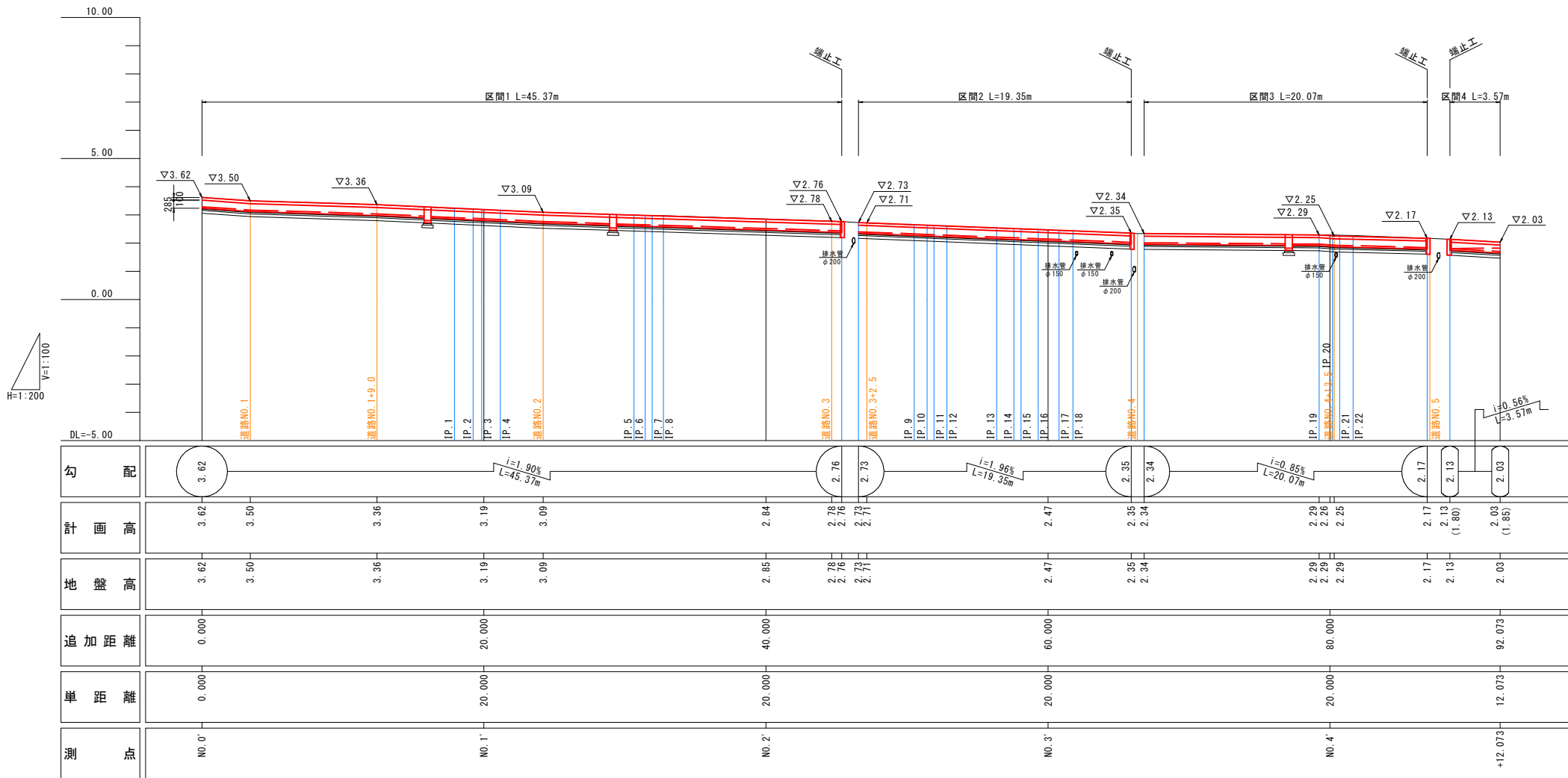
右側道路側溝縦断面図

V=1:100
H=1:200

(参考図)

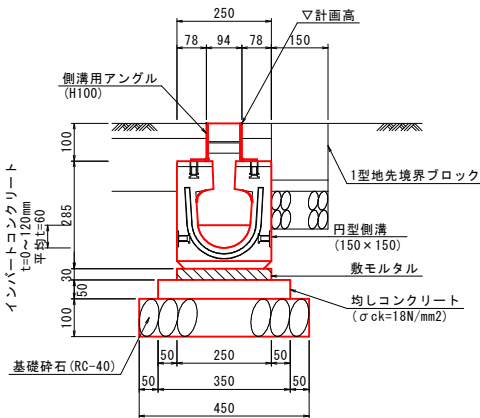
右側道路側溝縦断面図

V=1:100
H=1:200



標準断面図

S=1:10 (A3 1:20)

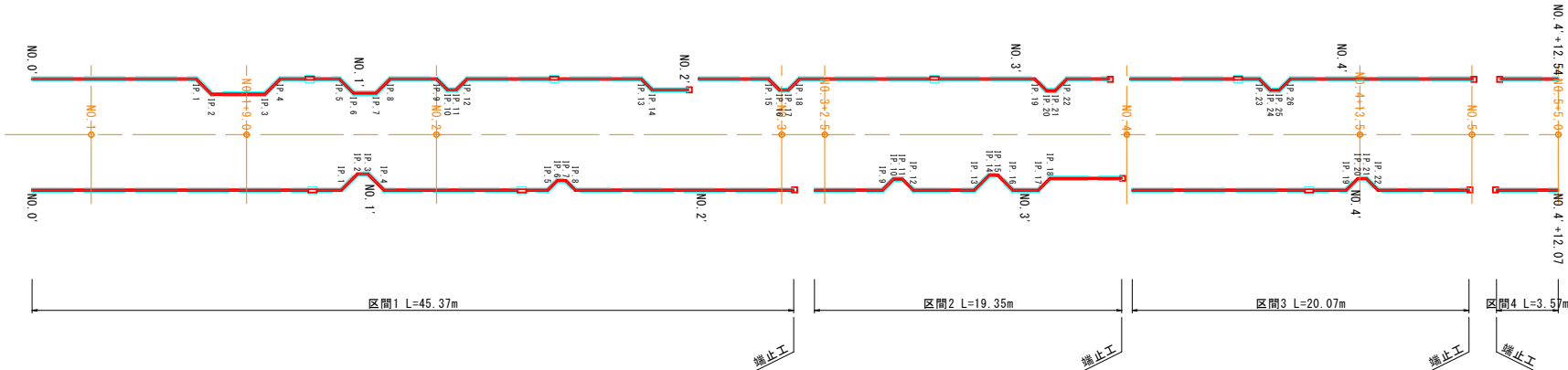


※計画高は、計画道路側溝天端高さを示す。
※計画道路側溝計画高は1型、2型地先境界ブロック天端に合わせる計画とする。
※1型、2型地先境界ブロック天端は既設L型側溝天端に合わせる計画を基本とする。
※道路N0. 4+13. 0は道路横断勾配を考慮し、
計画道路側溝計画高(2型地先境界ブロック天端高)を▽2. 26としており、
既設L型側溝天端より3cm程度低く設定していることに留意する

※縦断面図現況地形は、既設L型側溝天端高さを示す。計画道路側溝中心の現況地形高ではないことに留意する。
※縦断面図現況地形高さは、道路測点での既設L型側溝天端を既知点とし、測点間は距離案分にて推定している。
※計画高は、計画道路側溝天端高さを示す。
※計画道路側溝区間4は、道路縦断勾配と側溝流下方向が逆になるため、側溝底にインバートコンクリートを打設し流下方向を確保する。
※計画高の()内数値は、インバートコンクリート底高を示す。

右側道路側溝線形図

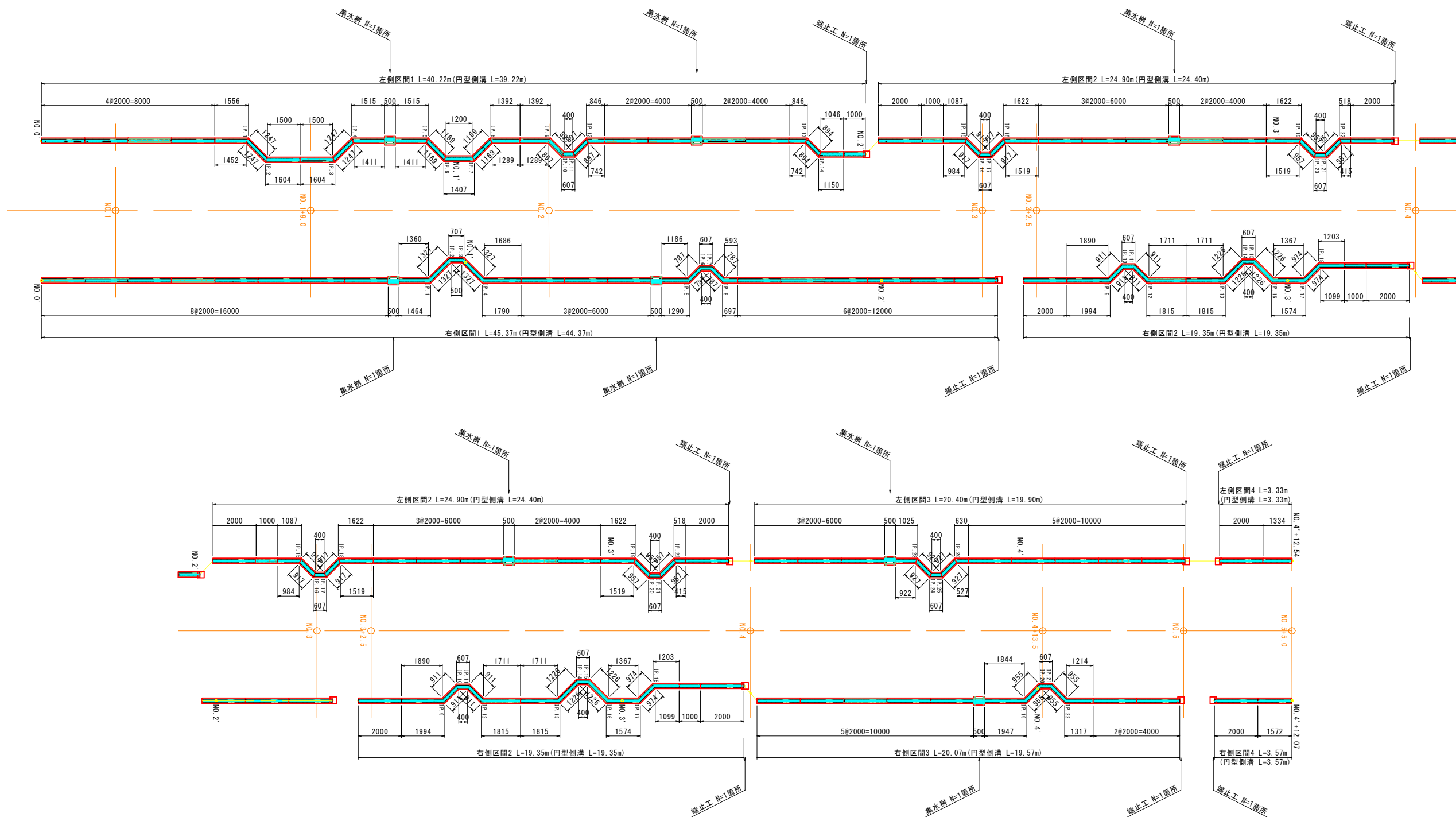
S=1:200 (A3 1:400)



図面番号	第 3 枚内 2 号
図面名称	市道角盤町 1 丁目 1 号線道路整備工事 (ウォーカル推進事業) 参考図 右側道路側溝縦断面図
縮尺	1:100 (A3=1:200)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

道路側溝割付図
(参考図)

S=1:100



図面番号	第 3 枚内 3 号
図面名称	市道角袋町 1 丁目 1 号線道路整備工事 (ウォークابل推進事業) 参考図 道路側溝割付図
縮尺	1:100 (A3=1:200)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	